

ワークショップで出された質問に対する回答

サッカー・多目的グラウンド整備について	
サッカー・多目的グラウンドを整備することで、どのような経済効果が見込めるのですか？	選手や関係者、サポーターも含め、年間約4万人の利用を想定しています。鹿児島銀行のシンクタンクでもある九州経済研究所の指導のもと試算した結果、年間約2億5千万円の総合波及効果が見込まれると試算されたところです。
なのはな館周辺にいろいろな集合体を持っていく計画ですが、地盤は大丈夫ですか？再度調査したほうがいいのではないですか？	サッカー・多目的グラウンドについては、地下約30mまで事前にボーリング調査を行い土壌の分析を行いました。その結果に基づいて、暗渠排水を設けたり、沈下防止の特殊なシートを敷いたりするなど、将来、地面に凹凸が発生しないような工法を採用しています。 また、クラブハウスなどの建築物の基礎部分については、建築物の支持力や安定性を保つことができるように、部分的に土の中に杭の役割を果たす、円柱状のパイルを造る工法を採用していますので、計画どおり実施できるものと考えております。
市民会館建替えについて	
なのはな館周辺にいろいろな集合体を持っていく計画ですが、地盤は大丈夫ですか？再度調査したほうがいいのではないですか？	市民会館建設地については、ボーリングによる地質調査を実施中であります。地盤構成の確認や地震時における地盤の振動形状の推察などを行い、調査結果を設計・施工に反映させることにしています。
市職員数について	
職員の採用は適切に行われているのですか？	職員数については、組織機構再編方針に基づき、事業の改廃及び業務量の増減を考慮した職員数を確保するため、適正な人員を採用しております。

空き家対策について

空き家の防災問題。空き家はどのくらいあるのですか。特にひどい空家の対策はどうするのですか。

空き家の件数につきましては、3年ごとに消防団に依頼し調査しております。平成28年12月時に調査した空き家は1,994棟(指宿地域1,219棟, 山川地域446棟, 開聞地域329棟)。そのうち危険空家は165棟(指宿地域107棟, 山川地域31棟, 開聞地域27棟)となっております。なお、本年度は調査実施年となっており、現在消防団で調査を実施しております。

また、空き家への対策につきましては、市民より対応依頼があった際に「空き家対策の推進に関する特別措置法」及び鹿児島県から示された「空き家対策実務者のための手引書」に基づき空家の所有者を調査し、所有者等に対し文書等にて助言・指導を行っております。

子ども食堂について

子ども食堂は大切ですが、ボランティアまかせでなく、市も協働できないのですか？

現在、本市で実施されている子ども食堂につきましては、地域の子どもの居場所づくりや交流を深めたいという思いで、有志の方々が取り組んでおられると認識しているところです。

これまでの市の支援としましては、主に周知の協力を行っているところであり、今後も実施内容や規模、事業の公益性や継続性等の確認をさせていただいた上で、広報紙への掲載やチラシの配布協力など対応できればと考えています。

市として、更にどのようなお手伝いができるか、実施主体からの要望を頂きながら調査・研究していきたいと考えています。

放課後児童クラブについて

<p>指宿小学校に放課後児童クラブが設置されると聞いています。交通事故の問題がありますが、何か対策を考えているのですか？</p>	<p>指宿小学校敷地への車の出入り口につきましては、児童クラブ設置に伴い保護者の車による送迎が想定されることから、対策の必要性については認識しており、今後、市の地域福祉課と学校整備室、小学校などの関係者で集まり具体的に協議をしていきたいと考えているところです。</p>
<p>山川小学校合併後の放課後児童クラブは、建物をどこに？上限は何名ですか？</p>	<p>小学校再編後の山川地域の児童クラブにつきましては、たいせいこども園と慈光保育園で行っている児童クラブに加え、大成小学校敷地内に児童クラブ専用施設を建設する予定であり、現在設計委託を行っているところです。</p> <p>なお、建設予定の建物の規模はおおむね40名程度の利用規模としています。</p>

小学校再編について

<p>小学校の廃校後の跡地利用は計画しているのですか？</p>	<p>現在、「市望ましい学校づくり調整会議」で御意見をいただきながら検討を進めています。現時点では、学校跡地の利活用についての基本的な方針を定めたいと考えています。</p> <p>また、方針決定後は、地域(区)からの活用要望を調査するとともに行政による活用希望を調査し、併せて市場調査なども実施するなどして、学校跡地ごとに個別計画を策定したいと考えています。</p>
<p>バス運行に関して、時間・バス停をどこにするのですか？大型・中型・小型のバス、いずれを運行するのですか？(山川中学校区)</p>	<p>現在、「市望ましい学校づくり調整会議」で御意見をいただきながら検討を進めています。</p> <p>登下校は学校の管理下となりますので、バスの運行時刻については、学校長と協議して詳細な運行計画を立てて、始業時刻に間に合うよう運行したいと考えています。</p>

	<p>地域の停留所（登校時の乗車場所・下校時の降車場所）については、雨風をしのげる現在の学校施設や公民館など公共施設を中心に活用したいと考えています。また、バスロータリー（登校時の降車場所・下校時の乗車場所）については、安全に乗降できるような場所を新たに設置したいと考えています。</p> <p>バスの大きさにつきましては、地域内での安全な運行、通学以外での活用なども考慮し、マイクロバスを複数台運行することが望ましいのではないかと考えています。</p>
<p>これまでの話し合いアンケートの結果は生かされているのですか？（開聞中学校区）</p>	<p>平成30年度は、保護者が不安に感じていることや関心があることなどについてアンケート調査するとともに、保護者説明会において、各小学校区の実情を踏まえた説明内容を作成するなどして、市民の不安の解消に努めてきました。</p> <p>望ましい学校づくりにつきましては、住民説明会や保護者説明会、出前説明会などを開催するなどして、市民の皆さんの御意見を伺いながら調整会議で協議を進めているところです。</p>
<p>学校別の説明会を開くのではなく、開聞地域全体での意見交換、話し合いはできないのですか？</p>	<p>これまでに、中学校区を単位とした説明会を開催したこともありますが、現在は、小学校区単位の住民説明会やPTA単位の保護者説明会を開催するなどして、地元の方が気兼ねなく参加でき発言しやすい環境づくりに努めています。なお、「市望ましい学校づくり調整会議」では、小学校区ごとの協議を行うとともに中学校区ごとの協議も行っておりますので、開聞地域全体での意見交換や話し合いについては、地域代表者や保護者代表者などによって行われているところです。</p>

<p>指宿小学校の駐車場が狭いです。これまでも要望は出していますが、どうなっているのですか？</p>	<p>現在のところ、放課後児童クラブの開設に向けた取組に伴う飼育小屋の移転等の協議を進めているところですが、併せて、駐車場の現状やあり方についても調査・検討を行っているところです。</p>
--	--

指宿港海岸整備について

<p>緑地帯、海水浴場の活用方法は、具体的にどのように決めていくのですか？</p>	<p>海岸の利活用については、今後市民及び関係団体の意見を踏まえ検討を進めて行く予定です。</p>
---	---

<p>整備は国直轄だと思いますが、後年度の管理費の地元負担があるのですか？</p>	<p>海岸保全施設の管理者は、鹿児島県です。背後緑地については、指宿市が管理者であるため、相応の費用が必要となります。</p>
---	---

<p>海岸整備事業の他の地域での成功例はあるのですか？</p>	<p>同様の面的防護(養浜)による海岸整備事例として、九州地方整備局管内では、別府港海岸(大分県別府市)があります。海岸整備事業は国土保全また防災・減災を目的としており、その施設をどの様に利活用するかは各海岸でわかれるところです。</p>
---------------------------------	---

<p>今まで沖にあった離岸堤はどうするのですか？</p>	<p>今まで沖にあった離岸堤は、整備中の離岸堤や護岸の一部に活用することになっています。そして、最終的に残る消波ブロックは、魚礁等への活用を予定しています。</p>
------------------------------	--

<p>市民に情報が伝わっていません。どこ(何)を見ればいいのですか？</p>	<p>鹿児島港湾・空港整備事務所のホームページで海岸整備について紹介頂いています。そして、工事現場付近に整備概要の看板を設置しています。また指宿港海岸整備のワークショップで進捗状況を直轄事務所から報告頂いています。情報については、今後さらに市民に周知出来る様、検討します。</p>
--	--

<p>先月の宮崎の地震もあったが、マグニチュード7を超えるもの、超大型台風に防護機能は耐えるのですか？</p>	<p>「海岸保全施設の技術上の基準・同解説」に則り、地震については指宿港海岸に最も影響の大きいM6.5の直下型地震を想定しています。</p> <p>また、波浪については50年に一度の波(50年確率波)に対して防護可能な構造となっています。</p>
<p>砂むし温泉はどうなるのですか？</p>	<p>現在、国では、海岸整備が「天然砂むし温泉」に影響しないよう調査し、工事方法の検討を行っているところです。</p> <p>「砂むし温泉」の今後のあり方については、市としても海岸の利活用を踏まえ、今後検討が必要と認識しています。</p>
<p>現在、花火大会が実施されている場所は、そのまま出来るのですか？</p>	<p>直轄工事の状況により、打ち上げ場所については、今後調整が必要となると思われます。</p>
<p>その他</p>	
<p>タクシーサービスの導入を早くできないですか？ (新公共交通システムについて)</p>	<p>新たな公共交通体系の構築に基づくデマンド型タクシーの導入につきましては、令和2年を目標に実証運行を行い、来年度中の本格運行を目指しております。</p> <p>導入地域については、基本的にこれまでイッシーバスを運行し、利用者が少なかったり、道幅が狭かったりするなどの事情がある中山間地域などでの検討をしております。今後、各地域で説明会を開き、周知してまいります。</p>
<p>かいもん荘跡地は、どうなっていますか？</p>	<p>かいもん荘跡地については、平成30年11月28日に岩崎産業株式会社から土地代金2,614万5,000円の納付があり、同日付で土地の所有権移転、引き渡しを行いました。</p> <p>岩崎産業(株)は、引き渡し日から18ヶ月以内(令和2年5月末まで)に宿泊施設等の工事の着工をする予定となっております。</p>

<p>セイカスポーツの二重帳簿の問題はどうなっているのですか。</p>	<p>令和元年6月3日から令和元年7月26日の間、指宿市監査委員による財政支援団体の株式会社セイカスポーツセンターの監査が行われました。その結果、収支報告書の収入、支出いずれも適切に処理されていたとの報告がありました。</p> <p>また、担当課に対しても、毎年度行うモニタリングで使用するモニタリングチェックシートの見直しをするようにとの指摘がありましたので、見直しを行い、業務にあたりたいと考えています。</p>
<p>開聞岳一周道路は、どうなっていますか？</p>	<p>現在、関係機関等と協議や調整を行いながら、道路の測量設計を進めております。</p>